

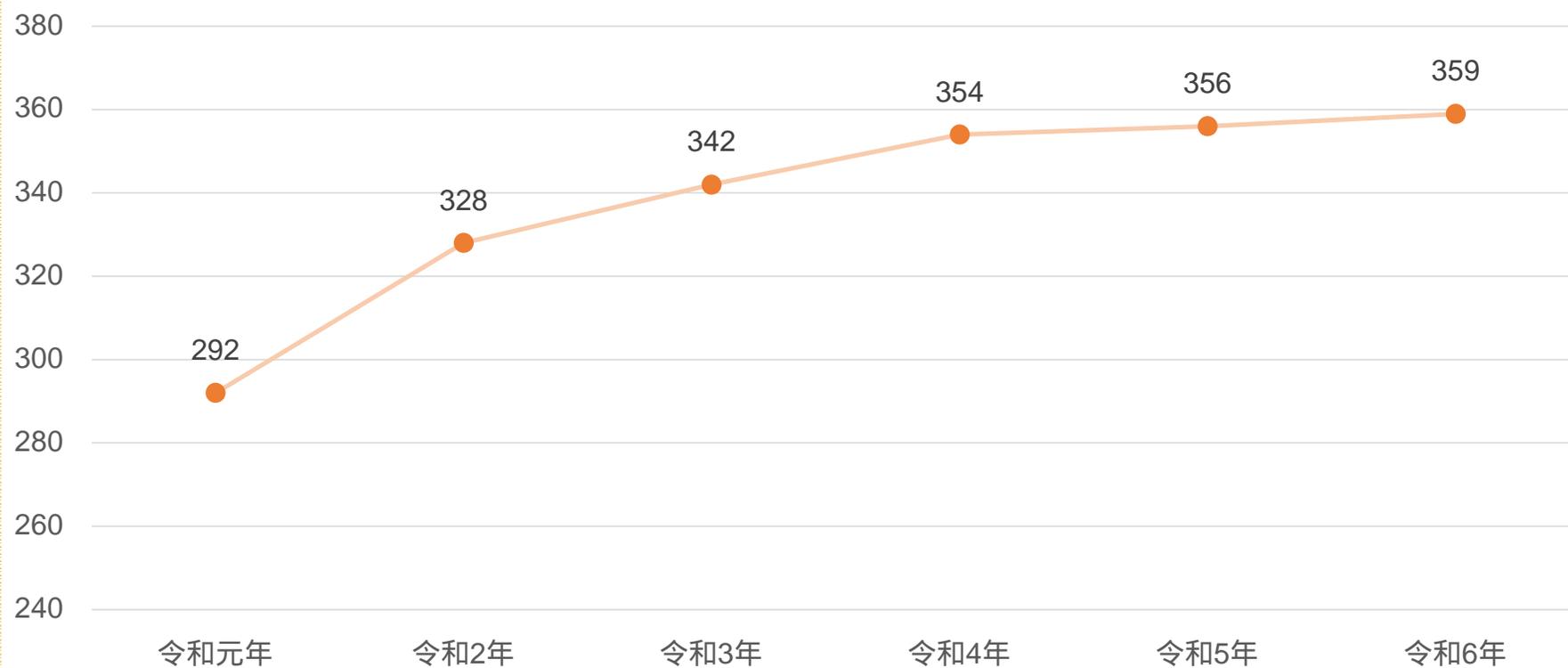
社会福祉施設の 労働災害防止について



静岡労働基準監督署 安全衛生課

労働災害が急増しています

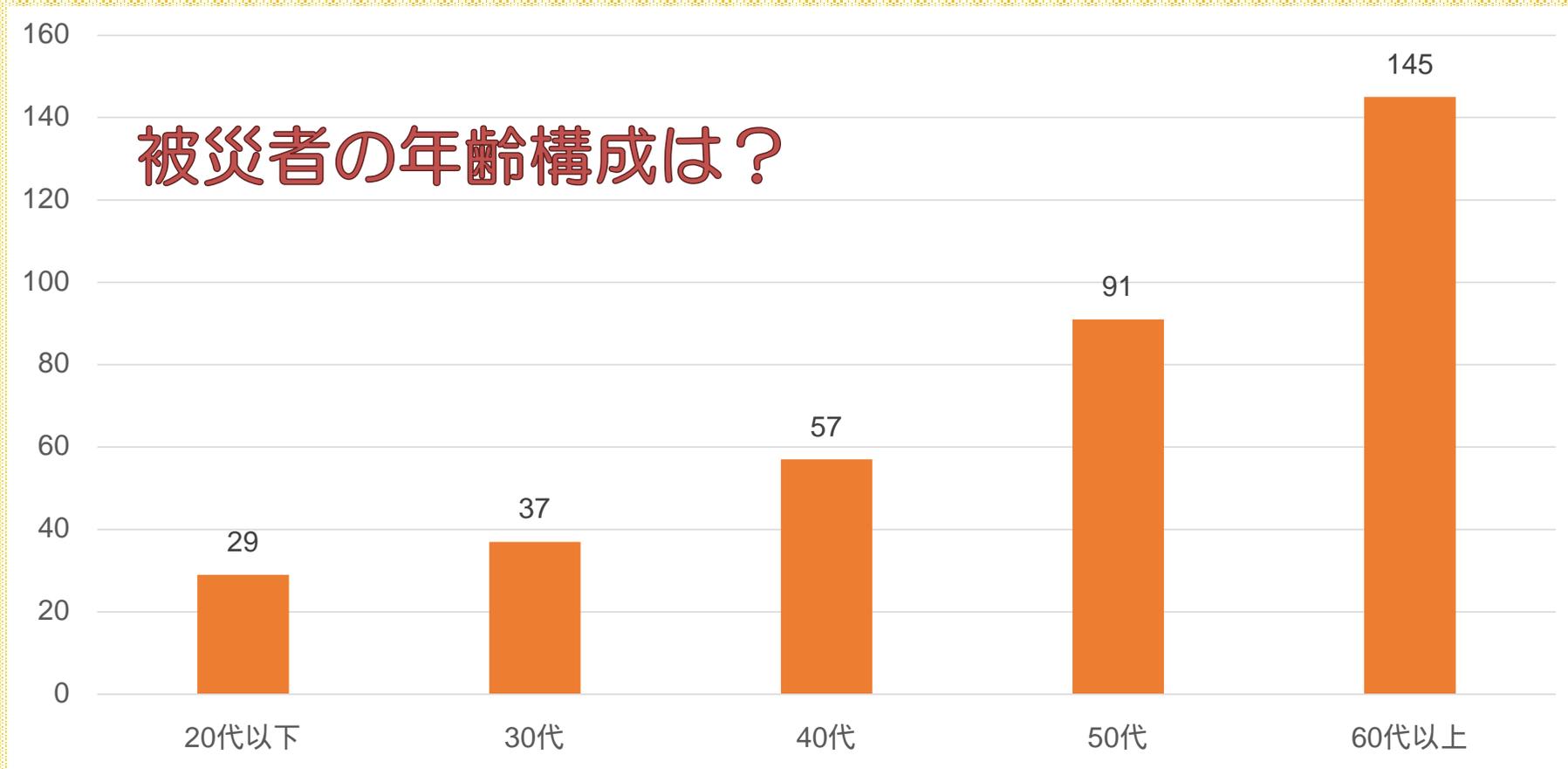
社会福祉施設の労働災害件数の推移（静岡県内）



出典元：労働者死傷病報告

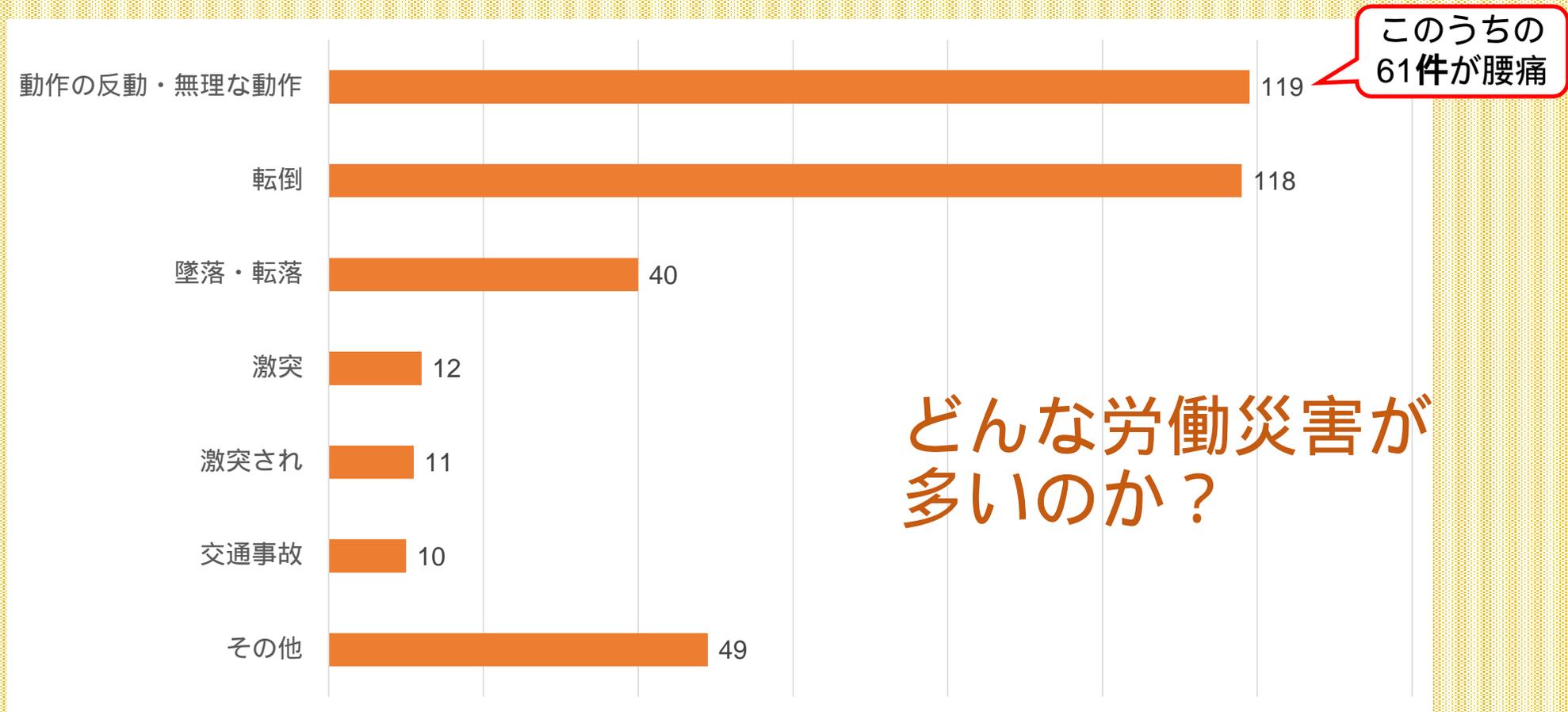
新型コロナウイルス感染症を除いた休業4日以上の件数

社会福祉施設労働災害発生件数（令和6年）



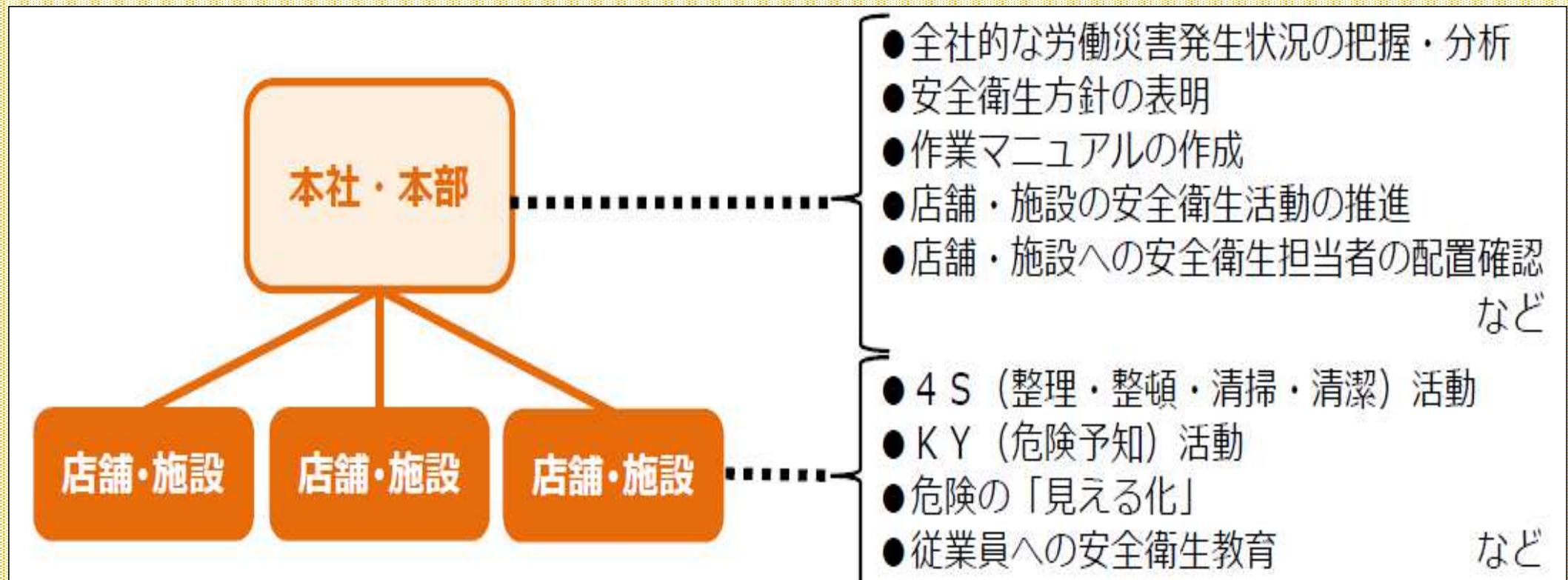
年代が上がるほど労働災害が増加する

事故の型別労働災害発生件数（令和6年）



動作の反動等（腰痛や捻挫など）、転倒が圧倒的に多い

労働災害を防止するための取り組みとは？

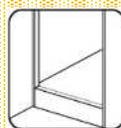


転倒災害を防止しましょう

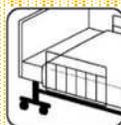
「つまづき」による転倒災害の原因と対策



何もないところでつまずいて転倒、足がもつれて転倒
転倒や怪我をしにくい**身体づくり**のための**運動プログラム等の導入**
走らせない、急がせない仕組みづくり



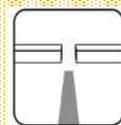
通路の段差につまずいて転倒
事業場内の通路の段差の解消、「見える化」
送迎先・訪問先での段差等による転倒防止の注意喚起



設備、家具などに足を引っかけて転倒
設備、家具等の角の「見える化」



利用者の車椅子、シルバーカー、杖などにつまずいて転倒
介助の周辺動作のときも焦らせない
介助のあとは“一呼吸置いて”から別の作業へ



作業場や通路以外の障害物（車止めなど）につまずいて転倒
適切な通路の設定
敷地内駐車場の車止めの「見える化」



コードなどにつまずいて転倒
労働者や利用者の転倒原因とならないよう、電気コード等の引き回しのルールを設定し、労働者に徹底させる



職場3分
エクササイズ



中央労働災害
防止協会
転倒予防セミナー



転倒災害を防止しましょう

「滑り」による転倒災害の原因と対策



凍結した通路等で滑って転倒

従業員用通路の除雪・融雪。凍結しやすい箇所には融雪マットを設置する



浴室等の水場で滑って転倒

防滑床材の導入、摩耗している場合は施工し直す

滑りにくい履き物を使用させる

脱衣所等隣接エリアまで濡れないよう処置



こぼれていた水、洗剤、油等（人為的なもの）により滑って転倒

水、洗剤、油等がこぼれていることのない状態を維持する。

（清掃中エリアの立入禁止、清掃後乾いた状態を確認してからの開放）



雨で濡れた通路等で滑って転倒

雨天時に滑りやすい敷地内の場所を確認し、防滑処置等の対策を行う

送迎・訪問先での濡れた場所での転倒防止の注意喚起



高年齢労働者の労働災害防止のために設備改善等を行う場合、中小企業事業者は「エイジフレンドリー補助金」の対象となります。

エイジフレンドリー補助金
についてはこちら



静岡労働局では「ぬかづけ運動」を実施しています

このリーフレットは、静岡労働局HPからダウンロードできます。

「静岡労働局 ぬかづけ運動」で検索！



職場の安全対策を！ 静岡労働局 転倒災害を防ぎましょう

「静岡労働局 ぬかづけ運動」実施中！

転倒災害を防止しよう！

ぬれた場所

かいだん

かたづけ

毎日の運動

床の水たまりや氷、油、粉類など危険な状態をみつけ、対策を講じていますか？

階段や段差のある場所など、転倒リスクの高い箇所に対して対策を講じていますか？

身の回りの整理整頓など、日々、作業者への意識づけ、教育などを行っていますか？

ストレッチや転倒予防体操など運動を行って、転倒しにくい体づくりに努めましょう！

静岡県内における労働災害（令和6年 4,598件）

転倒 1,145件

転倒全体の 24.9%

その他 1,464件

はさまれ・巻き込まれ 592件

墜落・転落 742件

動作の反動・無理な動作 655件

静岡県内では、平成21(2009)年から連続し、転倒災害が「事故の型」ワーストワンとなっています。転倒災害を少しでも減らすため「静岡労働局ぬかづけ運動」を展開しています。

静岡県内における令和6年の転倒災害1,144件（確定値）の内訳

50代以上が75%以上

70代~ 226件

60代 345件

50代 310件

40代 135件

30代 55件

20代 74件

約6割が休業1月以上

50代以上の休業期間別

3月~ 148件

2週~1月 200件

1~3月 377件

4日~1週 48件

1週~2週 108件

約6割が休業1月未満

50代未満の休業期間別

3月~ 25件

2週~1月 77件

1~3月 95件

1週~2週 54件

4日~1週 13件

転倒災害の75%以上が50代以上で、50代以上の約6割は休業1月以上となっています。

フレイル予防の3つのポイント

栄養

身体活動

社会参加

フレイル予防

10月10日は『転倒予防』の日

中央労働災害防止協会「STOP! 転倒災害プロジェクト」
<https://www.issha.or.jp/campaign/tentou/index.html>

一般社団法人 日本転倒予防学会 <http://www.tentouobou.jp/>

※転倒リスクの高い箇所をわかりやすく「ぬかづけ」と記載したのは「日本転倒予防学会」の副理事長 長峰芳徳氏です。

静岡労働局労働基準部健康安全課 静岡市東区追手町9-50 静岡地方合同庁舎3階 TEL 054-254-6314 【R7.4】
 静岡労働局と大塚製薬は包括連携協定を締結し、働く皆様健康増進を推進しています。

動作の反動・無理な動作（腰痛）による災害を防止しましょう

この事例集は、厚生労働省HPからダウンロードできます。

URL
<https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001360648.pdf>



まとめ

- 社会福祉施設では、労働災害が急増しています。
本部においては運営施設の労働災害の状況把握をお願いします。
- 施設においては、特に腰痛や転倒など作業行動に起因する労働災害防止の取り組みを実践しましょう。
- 利用者に安全・安心・快適な環境を提供するためには、施設で働く方の安全や健康を保つことが大切です。